

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: 貼付けプライマー V-200 (主剤)
販売者の会社名称	: 積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー
住所	: 〒105-8566 東京都港区虎ノ門 2-10-4 オークラプレステージタワー22階
担当部門	: 機能材事業部
電話番号	: 03-6748-6491
FAX番号	: 03-6748-6565
緊急連絡先	: 03-6748-6491
推奨用途及び使用上の制限	: 本製品は、建築・土木用樹脂（業務用）である。 その用途以外へ使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性固体 区分1

健康有害性

急性毒性（吸入：蒸気） 区分4

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2

皮膚感作性 区分1

生殖細胞変異原性 区分2

発がん性 区分1B

生殖毒性 区分1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（中枢神経系）

特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（気道刺激性）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分1（肝臓 血液系 呼吸器 神経系）

特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（腎臓 副腎）

環境有害性

水生環境有害性（急性） 区分2

上記以外の項目は、分類できない又は分類対象外である。

GHSラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険
危険有害性情報 : 可燃性固体
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれ
発がんのおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓、血液、呼吸器、神経系の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による腎臓、副腎の障害のおそれ
水生生物に毒性

注意書き

安全対策 : 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
容器を接地しアースをとること。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。

粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手及び眼をよく洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出を避けること。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 : 皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ばく露又はその懸念がある場合 : 医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合 : 医師の診察／手当を受けること。
医師に連絡すること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
医師の診察／手当を受けること。

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診察／手当てを受けること。
 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
 火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管：換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。

廃棄：内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	濃度範囲 (wt%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法、安衛法)	CAS 番号
ビスフェノール系 ビニルエステル樹脂	20 ~ 50	社外秘	登録済	登録済
スチレン	20 ~ 30	$\text{CH}_2=\text{CHC}_6\text{H}_5$	(3)-4	100-42-5
メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル	5 ~ 10	$\text{CH}_2=\text{C}(\text{CH}_3)\text{COOCH}_2$	(2)-1044	868-77-9
シリカ	1 ~ 5	SiO_2	(1)-548	7631-86-9
メタクリル酸	1.5 未満	$\text{CH}_2=\text{C}(\text{CH}_3)\text{COOH}$	(2)-1025	79-41-4
2-エチルヘキサン酸コバルト	0.4 以下	構造不定	(2)-615	136-52-7
N-メチル-2-ピロリドン	0.5 未満	$\text{C}_5\text{H}_9\text{NO}$	(5)-113 8-1-1014	872-50-4
1,4-ベンゼンジオール	0.1 未満	$\text{C}_6\text{H}_6\text{O}_2$	(3)-543	123-31-9
硫酸バリウム	10 ~ 50	BaSO_4	(1)-89	7727-43-7

4. 応急措置

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

	皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	: 口をすすぐこと。 医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 初期火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤	: 棒状注水
特有の危険有害性	: 火災によっては刺激性、腐食性又は毒性のガスを発生する恐れがある。 加熱により容器が爆発するおそれがある。
特有の消火方法	: 消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合には、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 放水等により環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	: 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。 こぼれた場所はすべりやすいために注意する。 漏出時の処理を行う際には、必ずゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。
環境に対する注意事項	: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 少量の場合には、砂、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。 回収物や処理物は、『13. 廃棄上の注意』を参考に廃棄する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	: 使用前に使用説明書を入手すること。

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後はよく手を洗うこと。
 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
 接触、吸入又は飲み込まないこと。
 環境への放出を避けること。

接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件 : 保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
 保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。
 『10. 安定性及び反応性』を参照。
 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。禁煙。
 冷所、換気の良い場所で保管すること。
 容器を密閉して保管すること。

安全な容器包装材料 : 製品包装形態で保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度 :

	管理濃度	許容濃度 (日本産業衛生学会 2020 年版)	許容濃度 (ACGIH 2017 年版)
スチレン	20ppm	20ppm(85mg/m ³) (皮)	TWA 20 ppm, STEL 40 ppm
メタクリル酸	未設定	2ppm(7.0mg/m ³)	TWA 20 ppm, STEL -
2-エチルヘキサ ン酸コバルト	未設定	0.05mg/m ³ (Coとして)	未設定
N-メチルピロリド ン	未設定	1ppm(4mg/m ³) (皮)	未設定
シリカ	E=3.0/(1.19Q+1) E:管理濃度(mg/m ³) Q:当該粉塵の遊離け い酸含有率(%)	0.3mg/m ³ (吸入性結晶質シリカ)	TWA 0.025 mg/m ³ (R) STEL 未設定
硫酸バリウム	未設定	第3種粉塵 吸入性粉塵 2mg/m ³ 総粉塵 8mg/m ³	未設定

設備対策 : 本製品を貯蔵または取り扱う作業場には、洗眼器と安全シャワー、アイシャワーを設置すること。
 換気の良い場所で取り扱うこと。

保護具

呼吸器の保護具 : 必要に応じて個人用呼吸器保護具を使用すること。

- 手の保護具 : 保護手袋を着用すること。
- 眼及び顔面の保護具 : 保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具 : 長袖作業衣を着用する。
飛沫が飛ぶ可能性があるときは、全身の化学用保護衣（耐酸スーツ）及び保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	: ペースト状
色	: 薄赤紫色
臭い	: 特有の強い臭い（スチレン臭）
pH	: 情報なし
融点・凝固点	: -30.6℃（スチレン）
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 145℃（スチレン）
可燃性	: データなし
爆発範囲	
下限	: データなし
上限	: データなし
引火点	: 31℃（スチレン：セタ密閉式）
引火点	: 31℃（スチレン：セタ密閉式）
自然発火温度	: 490℃（スチレン）
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に不溶、アセトン等の有機溶剤に可溶
n-オクタノール／水分配係数	: logPow=2.95（スチレン）
蒸気圧	: 0.7kPa（20℃）（スチレン）
相対密度（比重）	: 1.2 - 1.6（20℃）
相対蒸気密度（20 ° C）	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 熱、光、過酸化物等により重合反応を起こす。
化学的安定性	: 密閉状態で、冷暗所では安定である。
危険有害反応可能性	: 知見なし。
避けるべき条件	: 加熱、光、静電気の発生を防ぐ。 通気性のある材料の使用は避けること。
混触危険物質	: 強酸、強アルカリ、酸化性物質、過酸化物。
危険有害な分解生成物	: 熱分解や燃焼時に一酸化炭素、二酸化炭素等の有害性ガスや蒸気が発生。

1 1. 有害性情報

[成分の有害性データから判定される GHS 分類結果]

急性毒性（経口）	: 分類できない
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	: 区分 4
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 2
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分 1
生殖細胞変異原性	: 区分 2
発がん性	: 区分 1 B
生殖毒性	: 区分 1 B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分 1（中枢神経系） 区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 区分 1（肝臓 血液 呼吸器系 神経系） 区分 2（腎臓 副腎）
誤えん有害性	: 分類できない

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	: 区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	: 分類できない
生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生体蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

1 3. 廃棄上の注意

- | | |
|----------|---|
| 残余廃棄物 | : 内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |
| 汚染容器及び包装 | : 空容器類を廃棄する場合は、内容物を完全に除去してから廃棄すること。容器等を洗浄した溶剤等は、地面や排水溝等に流さないこと。 |
-
-

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	: 3 1 7 5
品名	: 固体（引火性を有する液体を含むもの）
国連分類	: 4. 1
容器等級	: II
海洋汚染物質	: 非該当

国内規制

海上規制情報	: 危険物船舶運送及び貯蔵規則に定められている運送方法に従う。
航空規制情報	: 航空法の規定に従う。
陸上規制情報	: 消防法および道路法等に定められている運送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

: 積み下ろしの際には、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させ車止めを施し、作業する。容器に漏れ、破損の無いことを確かめ転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

緊急時応急措置指針番号 : 1 3 3

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）

第1種指定化学物質 スチレン（管理番号 240）、メタクリル酸（管理番号 415）、コバルト及びその化合物（2-エチルヘキサン酸コバルト）（管理番号 132）、N-メチル-2-ピロリドン（管理番号 746）、1, 4-ベンゼンジオール（ヒドロキノン）（管理番号 336）

労働安全衛生法:

特化則（特定化学物質 第2類物質） スチレン

施行令別表9（表示・通知義務対象物質）

スチレン、コバルト及びその化合物（2-エチルヘキサン酸コバルト）、メタクリル酸、結晶質シリカ、N-メチル-2-ピロリドン、1, 4-ベンゼンジオール（ヒドロキノン）

リスクアセスメント対象物質（法第57条の3）

スチレン、コバルト及びその化合物（2-エチルヘキサン酸コバルト）、メタクリル酸、結晶質シリカ、N-メチル-2-ピロリドン、1, 4-ベンゼンジオール（ヒドロキノン）

施行令別表第1危険物（引火性の物） スチレン

健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項・厚労省指針公示） スチレン

強い変異原性が認められた化学物質（労働安全衛生法第57条の4） 1, 4-ベンゼンジオール（ヒドロキノン）

作業記録等の30年間保存の対象となる化学物質（規則第577条の2 結晶質シリカ）

毒物及び劇物取締法: 非該当

消防法

危険物 第2類 引火性固体 危険等級Ⅲ(指定数量 1000kg)

化審法:優先評価化学物質 スチレン、メタクリル酸

水質汚濁防止法:指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3) スチレン

悪臭防止法:特定悪臭物質(施行令第1条) スチレン

大気汚染防止法:

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申)

スチレン、コバルト及びその化合物、メタクリル酸 1,4-ベンゼンジオール
揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

スチレン、N-メチル-2-ピロリドン

揮発性有機化合物 法第2条第4項(VOC排出に関する調査報告)

メタクリル酸

海洋汚染防止法:

危険物(施行令別表第1の4) スチレン

有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

スチレン、メタクリル酸、N-メチル-2-ピロリドン

特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

廃棄物の有害成分・法第2条第1項第1号イに規定するもの(平10三省告示1号)

スチレン、1,4-ベンゼンジオール、メタクリル酸、メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

労働基準法:

疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

スチレン、2-エチルヘキサン酸コバルト、1,4-ベンゼンジオール、
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル

16. その他の情報

本安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。

本製品を推奨用途以外に使用したい場合は、仕様が用途に合致しない場合がありますので、事前に弊社へ相談して下さい。

また、当社は、SDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

この製品をそのまま、又は、他の物と混合し、海外に輸出する場合は事前に弊社に連絡をお願いします。

引用文献

- 1) 日本化学工業協会編集 緊急時応急措置指針 容器イエローカードへの適用
ERG 2020年版(日本規格協会)
 - 2) 日本産業衛生学会 産業衛生学雑誌(産衛誌 62巻, 2020)
 - 3) ACGIH(The American Conference of Governmental Industrial Hygienists)(2017)
 - 4) GHS分類結果データベース 独立行政法人製品評価技術基盤機構ホームページ
-

